

学びのデザインシート（本時）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【外国語科】

1. 対 象 2年生

英語に苦手意識をもっている生徒が多いが、会話活動には積極的に取り組む様子が見られる。英語での会話活動では短文でのやり取りが多く、相手の答えを聞いて関連した質問を投げかける生徒は少ない。生徒の多くは、今年から新しく関わる ALT との授業を心待ちにしている。

2. 単元名 「ALT に夏休みに行くべき静岡の旅行計画を提案しよう！（Unit 3 Plans for the summer）」 （全10時間）

3. 単元の目標

知識及び技能	be going to-や will といった未来表現や接続詞 if の特徴やきまりを理解している。ALT におすすめの場所について未来表現や接続詞などを用いて伝え合う技能を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	ALT が気に入る旅行計画を作るために、夏休みに行くべき静岡県内のおすすめの場所やそこで体験できることなどの情報を整理し、ALT に簡単な語句や文を用いて伝え合っている。
学びに向かう力、人間性等	ALT が気に入る旅行計画を作るために、夏休みに行くべき静岡県内のおすすめの場所やそこで体験できることなどの情報を整理し、ALT に簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。

4. 言語活動

本時に至るまでに、単元のまとめの活動に使えるような表現を十分ペアで練習しておく。相手の言ったことを聞いたうえで、さらに深堀りして質問するため、最初は双方向のやり取りを1往復、2回目は2往復といったようにスモールステップで増やしていく。また、言いたいことがあるのに言えない表現があれば全体で投げかけ、生徒の伝えたい思いを引き出しつつ、表現の幅を増やしていく。

5. 本時の目標

ALT におすすめの夏休みの旅行計画を立てるために、ALT に必要な情報を聞き出すことができる。

6. 授業展開

解決したい課題や問い

ALT にぴったりの旅行計画を提案するために、ALT のことを詳しく知ろう。

考えるための材料

- ①モデルプランとして教師自身が行きたい旅行先の提案文
- ②ALT が自己紹介で使用したスライド
- ③質問を考えるワークシート

想定される活動

- ①旅行計画を作成する上で必要となりうる情報が何かを考える。単元のゴールを指し示す。
- ②ALT の興味関心を振り返り、さらに詳しく聞きたいことがあるか考える。
- ③仲間と質問を考える。考えをまとめる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- 3～4人の班活動、各班で考えた質問を代表者2名が交代でALTに質問する。質問の時間は1人1分。
- ・ALTは運動が好きと言っていたけど、富士山は行ったことあるのかな。
- ・Did you go to Mt. Fuji? Do you like Mt. Fuji? って言えいいかな。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

Student: Do you like animals?

ALT: Yes. I like dogs.

Student: Did you go to the zoo?

ALT: No. But I want to go to the zoo.

Student: Can you touch animals?

- ・この情報があれば富士山に行く旅行プランをきっと気に入るな。
- ・will を使ってすでに予定されていることはさけた計画の方がいいな。
- ・他の班と違う提案にしたいな。もう少し聞きたかったな。次は〇〇についてももう少し聞こう。
- ・できないときには昼休みに行こう！